

「水道ビジョン」検討のためのアンケート調査(その2)について(依頼)

各水道事業者 御中
各水道用水供給事業者 御中
各簡易水道事業者 御中

平成15年9月16日
社団法人 全国上下水道コンサルタント協会

この度、厚生労働省の依頼により、「水道ビジョン」の策定に関する資料収集等一連の調査について本協会が実施することとなりました。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、本アンケート調査票にご回答賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 調査対象

アンケート調査(その2)は、平成12、13年度に行われた(財)水道技術研究センターの「水道における廃棄物の減量化と再生利用促進のための計画の策定に関する調査」の事後調査となります。

調査対象は、平成12、13年度調査の対象であった水道事業、水道用水供給事業、簡易水道事業者となります。

2. 調査内容

水道事業における廃棄物の種類と量についてお答えください。

3. 回答期限

平成15年10月3日(金)までに回答をお願いいたします。

4. 返送先

今回のアンケートは、原則として電子メールを利用して実施します。このエクセルファイルの表紙シート及び、1～6の項目に記入いただき、(株)東京設計事務所の次の返信先メールアドレスに返信してください。

返信先メールアドレス : answer@tokyoengicon.co.jp

なお、メールアドレスを確認できなかった事業者につきましては、アンケート調査票(紙ベース)を郵送いたしますので、ご回答いただいた調査票は、下記連絡先にFAX下さいますようお願いいたします。

FAX No : 03-3580-2498

5. 返送するエクセルファイルの名称について(電子メールで調査票が送付された方のみ対象)

このエクセルファイルの名称は、「アンケート調査票(その2)」となっておりますが、集計作業における整理の都合上、返送するエクセルファイルは、「アンケート調査票(その2)」の後に都道府県番号と事業者番号(3桁)を加えた名称に変更した上で、返信メールに添付して頂くようお願いいたします。

例：函館市水道局の場合のエクセルファイル名は、

県番号「1」と事業者番号「001」を加えた「**アンケート調査票(その2) 1001**」となります。

6. 内容についてのお問い合わせ

アンケート調査(その2)については、(株)東京設計事務所 環境グループ 水船、尾崎まで

メールアドレス : kiyoshi_mizufune@tokyoengicon.co.jp

: yoko_osaki@tokyoengicon.co.jp

FAX No : 03-3580-2498

<アンケート調査(その1)について>

アンケート調査(その1)については、全国の水道事業、水道用水供給事業の中で電子メールアドレスが確認できた事業者(簡易水道事業は除きます。)を対象としております。対象事業者には電子メールにてアンケート調査票(その1)を別途送信させていただきます。

以上

「水道ビジョン」検討に関するアンケート(その2) 調査票回答者
連絡先

都道府県名		
フリガナ		
事業主体		
フリガナ		
事業名称		
フリガナ		
記入者氏名		
所属部署名		
電話番号、内線		(内 線)

〔記 入 要 領〕

事業主体：市町村経営の場合は、〇〇市と記入し、水道局や水道部等は記入しなくて結構です。

所属部署名：記入者の連絡先部署について部局名から記入し、「水道局総務課庶務係」や「水道部業務課企画係」のように正確にすべて記入してください。

電話番号：市外局番の後ろは、ハイフン“－”を付けて記入してください。代表電話の場合は必ず内線欄に内線番号を記入してください。(半角入力のみ)

〔備考〕(連絡事項がある場合にのみ活用してください)

--

0 給水人口について (平成11年度及び平成14年度)

① 平成11年度給水人口 人

平成12年3月31日現在の給水人口を記入して下さい。

② 平成14年度給水人口 人

平成15年3月31日現在の給水人口を記入して下さい。

1. 建設発生土 (平成14年度の状況を記入してください。)

建設発生土とは、配水管布設・撤去工事、配水池築造・改良工事、浄水場の築造・改良工事等にも
なつて発生する土砂で、コンクリート、アスファルトを除いたものです。

(1) 発生量 (建設発生土)

① 発生量を把握していますか？

1:把握している

2:把握していない

② 発生量 (①で「1:把握している」と回答した場合のみ記入して下さい)

 m³/年

(2) 処分方法 (建設発生土)

土砂の処分について工事発注設計書に計上された処分量を、処分方法ごとに記入して下さい。該当
する項目がない場合には、その他欄に処分方法を簡潔に記入し、処分量を記入してください。複数回
答可。

(注) 処分方法は、以下の定義による。

- ① 再利用をする：再資源化せずにそのまま利用する。
- ② 再生プラントに搬入をする：再資源化するための処分施設へ搬入する。
- ③ 埋め立て用材として再利用をする：臨海部等の埋め立て用材として再利用する。
- ④ 最終処分場に搬入をする：廃棄物として処分場に搬入する。
- ⑤～⑦ その他：上記①～④以外の処分方法。
- ⑧ 不明：処分の実績はあるが、処分方法が不明。

処 分 方 法 ^(注)	処 分 量 (m ³ /年)
① 再利用をする (同一工事、他の工事)	
② 再生プラントに搬入をする	
③ 埋め立て用材として再利用をする	
④ 最終処分場に搬入をする	
⑤ その他-1 ()	
⑥ その他-2 ()	
⑦ その他-3 ()	
⑧ 不明	
計	

※仮置きされる量については、仮置き後の処分方法として、該当する処分方法に加えてください。

(注) 処分方法は、以下の定義による。

※仮置きされる量については、仮置き後の処分方法として、該当する処分方法に加えてください。

4.建設発生木材 (平成14年度の状況を記入してください。)

(1) 発生量 (建設発生木材)

① 発生量を把握していますか？

▼

- 1:把握している
- 2:把握していない

② 発生量 (①で「1:把握している」と回答した場合のみ記入して下さい)

m³/年

(2) 処分方法 (建設発生木材)

建設発生木材の処分について工事発注設計書に計上された処分量を、処分方法ごとに記入して下さい。該当する項目がない場合には、その他欄に処分方法を簡潔に記入し、処分量を記入して下さい。複数回答可。

(注) 処分方法は、以下の定義による。

- ①再利用をする： 再資源化せずにそのまま利用する。
- ②再生プラントに搬入をする： 再資源化するための処分施設へ搬入する。
- ③焼却処分をする： 請負業者又は事業体による焼却処分
- ④最終処分場に搬入をする： 廃棄物として処分場に搬入する。
- ⑤～⑦その他： 上記①～④以外の処分方法。
- ⑧不明： 処分の実績はあるが、処分方法が不明。

処 分 方 法 ^(注)	処 分 量 (m ³ /年)
①再利用をする (同一工事、他の工事)	
②再生プラントに搬入をする	
③焼却処分をする	
④最終処分場に搬入をする	
⑤その他-1 ()	
⑥その他-2 ()	
⑦その他-3 ()	
⑧不明	
計	

5.管材 (平成14年度の状況を記入してください。)

5-1. 導・送・配水管の処分方法

該当管種ごとに、処分方法ごとの該当する処分量を記入してください。その他の場合は、方法を簡潔に記入してください。複数回答可。

(注) 処分方法は、以下の定義による。

- ① 売却 : 管材あるいは管材以外の製品の原材料として、回収業者等の他の者に有料で引き渡す。
- ② スクラップ処分 : 管材以外の製品の原材料として、回収業者等の他の者へ無料又は費用を負担して引き渡す。
(再生後の用途が不明な場合を含む。)
- ③ 再生プラントへ搬入 : 管材の原材料として、回収業者等の他の者へ無料又は費用を負担して引き渡す。
- ④ 産廃処分 : 産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。
- ⑤ その他 : 上記①～④以外の処分方法。
- ⑥ 不明 : 処分の実績はあるが、処分方法が不明。

管種	処分方法 ^(注)	処分量 (t/年)
ダクタイル鋳鉄管	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
鋳鉄管	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
鋼管	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
塩ビ管	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
石綿管	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
バルブ類	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	

管種	処分方法 ^(注)	処分量 (t/年)
ポリエチレン管	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
鉛管	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
その他管種一式	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
計		

5-2. 給水管の処分方法

該当管種ごとに、処分方法ごとの該当する処分量を記入してください。その他の場合は、方法を簡潔に記入してください。複数回答可。

(注) 処分方法は、以下の定義による。

- ① 売却 : 管材あるいは管材以外の製品の原材料として、回収業者等の他の者に有料で引き渡す。
- ② スクラップ処分 : 管材以外の製品の原材料として、回収業者等の他の者へ無料又は費用を負担して引き渡す。
(再生後の用途が不明な場合を含む。)
- ③ 再生プラントへ搬入 : 管材の原材料として、回収業者等の他の者へ無料又は費用を負担して引き渡す。
- ④ 産廃処分 : 産業廃棄物処理業者へ処分を委託する。
- ⑤ その他 : 上記①～④以外の処分方法。
- ⑥ 不明 : 処分の実績はあるが、処分方法が不明。

管種	処分方法 ^(注)	処分量 (t/年)
鋼管	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
塩ビ管	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
鉛管	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
ポリエチレン管	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
その他管種一式	① 売却	
	② スクラップ処分	
	③ 再生プラントへ搬入	
	④ 産廃処分	
	⑤ その他 ()	
	⑥ 不明	
計		

6.再生品 (材) の使用状況 (平成14年度の状況を記入してください。)

水道工事に使用している再生品 (材) の種類を選択 (種類の欄の□にレ点を記入) し、その量を記入してください。
量がわからない場合も、該当項目を選択 (種類名の欄の□にレ点を記入) してください。その他の場合は、種類を
記載し、単位も必ず記入してください。複数回答可。

種 類	量	単 位 (t/年、m ³ /年)
☐ 再生アス・コン材		t/年
☐ 土砂		m ³ /年
☐ 碎石		t/年
☐ 再生路盤材		t/年
☐ 再生骨材		t/年
☐ レンガ		m ³ /年
☐ その他① ()		() /年
☐ その他② ()		() /年
☐ その他③ ()		() /年